



「あきたこまち R」をめぐる国際対話（同時通訳・オンライン）

— IFOAM が日本に宛てた「書簡」を手がかりに、有機農業を考える —

重イオンビーム育種の米「あきたこまち R」 は有機農業と相容れるのか

会期：2026年2月27日（金）

時間：9:30～12:30（日本時間）

形式：オンライン開催（日英同時通訳）

参加費：無料（事前申込み制）

* 後日、プログラム、資料、参加方法など、ご案内します。

参加申込みリンク：

https://ofj.or.jp/ifoam_japan/ifoam_japan20260227.html



参加申込みQRコード



プログラム

◆IFOAM専門家による講演

David Gould 氏

（IFOAM Seeds Platform事務局長）

◆日本の現状報告

印鑰智哉（いんやく・ともや）氏

（OKシードプロジェクト事務局長）

◆各国からのアピール／質疑応答



David Gould 氏



印鑰智哉 氏

— 「あきたこまちR」で知りたいことは、—
重イオンビーム育種は、自然な育種や、これまでの放射線育種と同じなのか
なぜ、有機認証の対象になっているのか
なぜ、表示されていないのか
日本のコメ輸出に、不利益をもたらさなのか
「あきたこまちR」の推進は、未来世代を守る「予防原則」を置き去りにしていないか

※企業・団体協賛、参加者寄付のお願い（特典としてアーカイブ配信をご案内します）

より多くの方に参加していただくため、参加費は無料とします。一方、日英通訳での国際会議の開催・運営には一定の費用が必要となります。企業・団体協賛一口10,000円、参加者寄付一口1,000円を目安にぜひお力添えください。

主催 | （特非）IFOAMジャパン

共催 | IFOAM（国際有機農業運動連盟）- Organics International

協力 | OKシードプロジェクト、（特非）全国有機農業推進協議会（調整中）、
（特非）日本有機農業研究会、（一社）オーガニックフォーラムジャパン